

しょくいん かんが
職員が考えた

せいぶつたようせい
生物多様性かるた

かい せつ
— 解説 —



しょくいん いっしょうけんめい
職員も一生懸命
かんが
考えたッコー！



さっぽろ市
01-J02-18-719
30-1-80

SAPP_RO

発行／平成 30 年 4 月

○職員が考えた生物多様性かるたについて

札幌市では、生き物同士のつながりの大切さを広く知ってもらうため、平成29年9月から10月の期間で市内に住む小学生の皆さんから生き物に関するかるたの読み札を募集し、「生き物かるた」を作りました。

皆さんに考えてもらったすばらしい作品を受け、さらに詳しく知ってほしいことや、一緒に考えて取り組んでほしいことをテーマに、「職員が考えた生物多様性かるた」を作りました。

○生物多様性とは

地球では、人間だけではなく、動物や植物、昆虫などいろいろな生き物がお互いにつながりあいながら生きています。

「生物多様性」とはたくさんの生き物がいて、それらがつながりあっていることを表す言葉です。

○なぜ生物多様性が大切なの？

私たちは日々、きれいな水や空気、薬の原料、文化の源泉など、生物多様性から様々な“恵み”を受けています。この生物多様性からの恵みを“生態系サービス”と言い、私たちが生きていくために欠かせません。

生態系サービスは、様々な生き物のつながり（生物多様性）の中から生み出されてくるものですが、このつながりが乱れると種の絶滅を招き、生物多様性や生態系サービスが失われてしまうおそれがあります。私たち人間の生活の影響により、地球上では自然の速さのおよそ1,000倍というスピードで生き物が絶滅しているといわれています。一度失われた種は

二度と元には戻せません。

このままのスピードで生き物が絶滅していくと、いずれ私たち人類も存亡の危機に直面することが心配されています。

現在、生物多様性が失われることは、温暖化と並ぶ深刻な地球環境問題となっています。

○生物多様性さっぽろビジョン

生物多様性を守るためには、札幌市の豊かな自然環境を守るとともに、私たち一人ひとりの暮らし方が世界の生物多様性に影響を与えていることを認識し、毎日の行動を見直していく必要があります。

札幌市は、平成25年3月に生物多様性を守るための基本的な考え方として「生物多様性さっぽろビジョン」を作りました。札幌市では、このビジョンをもとに、市民のみなさんやNPO、事業者などのいろいろな立場の人たちと一緒に、生物多様性を守る活動に取り組んでいます。



○かるたと解説 かいせつ



え 絵 札 だ



よ 読み札 だ

かい 解説

「アリさんも せいたいけい生態系の一部だよ」

すべての生き物は、食べたり、食べられたり、競争したり、助け合ったりして、互いに関係しながら複雑につながり合って生きています。小さなアリもこうした生態系の一部です。

かるたの解説 かいせつ
かるたの絵札がどんなことを表しているか、どんなことを伝えたいのかの説明です。

<キーワード>
○生態系 せいたいけい

調べてみよう！キーワード しら
生物多様性を守ることにつながるキーワードです。本やインターネットを利用して、更に詳しく調べてみましょう。

絵札・読み札の縁の色は、このかるたが「生物多様性さっぽろビジョン」に基づいて進める4つの柱のうち、どれに関わる事柄であるかを表しています。
<生物多様性さっぽろビジョン 4つの柱>
みどり：柱1「理解する」生物多様性やその大切さについて知る・学ぶ
きいろ：柱2「協働する」生物多様性を守るため、みんなで一緒に取り組む
あ お：柱3「継承する」生物多様性を守り育て、未来へ伝えていく
あ か：柱4「活用する」生物多様性が与えてくれる恵みを適切に利用する



「アリさんも せいだいけい生態系の いちぶ一部だよ」

すべての生き物は、食べたり食べられたり、競争したり、助け合ったりして、互いに関係しながら複雑につながりあって生きています。小さいアリもこうした生態系の一部です。

<キーワード> せいだいけい生態系



「遺伝子の い でん し中にもあるよ たようせい多様性」

北海道にしか生息していないオオルリオサムシは、飛べないため、移動範囲が限られます。そのため、狭い範囲で体の色などを決める遺伝子(生き物の形などを決めるもの)が決まったと考えられ、市内でも生息地によって体の色に違いが見られます。

<キーワード> たようせい多様性



「うちの庭 い生き物たくさん いビオトープ」

ビオトープとは生き物の住むところを意味します。ベランダや庭で野菜を育てたり、花壇を作ることは、生き物の生息環境を増やすことにつながります。

<キーワード> いビオトープ



「エサやりは あいご愛護じゃなくて いエゴですよ」

野生の生き物は、厳しい自然の中で、自ら餌をとって生きています。エサやりによって野生動物の自然の中で生き抜く力が弱まったり、生態系のバランスが崩れてしまう可能性があります。自然のまま見守るのも生き物への愛情です。

<キーワード> えつ餌付け



「温暖化 生き物たちに
大影響」

地球温暖化が進むと、高地
や寒い地域に住む生物の
減少や住む場所の変化を
引き起こします。そのた
め、温暖化は地球環境だ
けでなく、生き物にとっ
ても大きな問題となります。

<キーワード>温暖化



「外来種 入れない、
捨てない 拡げない」

外来種とは、もとはその地域に
いなかったのに、人間の活動に
よりほかの地域から入ってきた
生物のことをいいます。一度住
み着いてしまった外来種を取り
除くのはとても難しいこと
です。そのため、「入れない・捨て
ない・拡げない」の外来生物被害
予防3原則を守りましょう。

<キーワード>外来種



「決め手だね
自然に配慮 エコラベル」

適切に管理され、生産され
た商品を選ぶことは、
森林や農産物、水産資源を
守ることにつながります。

<キーワード>エコラベル



「クマやサケ
自然と共生 札幌市」

生物多様性さっぽろビジョ
ンでは、豊かな生物多様性と
共生（一緒に生きていくこ
と）する都市づくりを目標
としています。

<キーワード>共生



げんせいりん のこ みらい
「原生林 残そう未来に

ありのまま」

さっぽろし もいわげんせいりん
札幌市には藻岩原生林、
まるやまげんせいりん
円山原生林があり、それぞ
くに てんねんきねんぶつ してい
れ国の天然記念物に指定さ
れていす。しがいち ちか
市街地からも近
きちょう げんせいりん みらい
い貴重な原生林を未来まで
のこ たいせつ
残すことが大切です。

<キーワード>

てんねんきねんぶつ げんせいりん
天然記念物、原生林



「これ以上 レッドリストに
載せないで」

レッドリストとは、すでに
ぜつめつ ちきゅうじょう
絶滅（地球上から消えてしま
うこと）したり、近いうちに
ぜつめつ ちか
絶滅しそうな野生の生き物に
ついて調べてまとめた生き物
のリストです。札幌市が作成
したレッドリストには297種
の生き物がのっています。こ
れ以上増やさないようにでき
ることからはじめましょう。

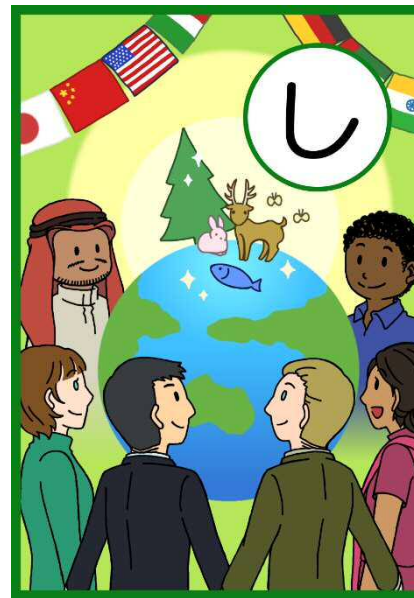
<キーワード>レッドリスト



さっぽろ とり
「札幌の 鳥はワタクシ
カッコーです」

さっぽろ とり
札幌の鳥はカッコウです。
さっぽろしせいぶつたようせい
札幌市生物多様性PR キャ
ラクター「カッコー先生」
せいぶつたようせい おお みな
が生物多様性を多くの皆
さんに知ってもらえるよ
うにさまざま とりくみ すす
うに様々な取組を進めて
います。

<キーワード>カッコー先生



じつげん せかい
「実現だ 世界で
愛知目標を」

あいちもくひょう
愛知目標とは、平成22年10
がつ あいちけん な ごやし かいさい
月に愛知県名古屋市で開催さ
れたせいぶつたようせい かん こくさい
れた生物多様性に関する国際
かいぎ き せかいもくひょう
会議で決められた世界目標で
す。20 の個別目標が定めら
れ、2020年までの達成に向け
とりくみ すす
た取組が進められています。

<キーワード>愛知目標、

きこうへんどうくわくくみこみうたけいやくていこくかいぎ
気候変動枠組条約締約国会議 (COP)



「水素はね 自然にやさしい
エネルギー」

水素は、温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しないことから、温暖化対策に有用なエネルギーです。再生エネルギーを利用して水素を作る場合、ガソリン車と比べて二酸化炭素の排出量を大きく減らすことができます。

<キーワード>水素



「生態系 サービス利用
適切に」

きれいな空気や水、食べ物や衣服など私たちが当たり前と思っているものの多くは、生物多様性が与えてくれる恵みです。この恵みのことを生態系サービスといいます。生態系サービスを適切に利用することが大切です。

<キーワード>生態系サービス



「存在を 忘れないでね
在来種」

在来種とは、その地域に古くから住んでいる生き物を指します。開発や外来種により在来種の生息・生育地が奪われてしまわないように注意が必要です。

<キーワード>在来種、
エゾサンショウウオ



「食べ物は 地産地消を
進めよう」

地域で生産された食べ物を地域で消費する地産地消は環境にやさしい取組です。地元でとれた農作物を食べることは環境負荷を減らすとともに、生き物たちの貴重な成育場所である農地を守ることもつながります。

<キーワード>地産地消



ちきゅうきほ
「地球規模 SDGs
もくひょう
目標だ」

SDGs(エスディーゼズ)は、
じそくかのうしゃがい ちきゅうかんきょう
持続可能な社会や地球環境を
めざして、2015年に国連で
けつてい ねん こくれん
決定した 2030年までの行動
もくひょう きこう
目標です。エネルギーや気候
へんどう かんきょうもんだい
変動など、環境問題をはじめ
とした 17 の目標を定めており、
すべての国で取組を進めています。

<キーワード>SDGs



「つくりたい さっぽろ
ビジョン 目指すまち」

せいぶつたようせい
生物多様性さっぽろビジョ
ンは せいぶつたようせいほぜん
生物多様性保全のため
の基本指針です。「北の生き
ものひとかがや
物と人が輝くまちさっぽ
ろ」の理念のもと、せいぶつ
たようせいほぜん さまざま
多様性保全のための様々な
とりくみすす
取組を進めています。

<キーワード>

せいぶつたようせい
生物多様性さっぽろビジョン



「てに負えず
ペット捨てるな 無責任」

ペットの中には、もともと
さっぽろせいそく い
札幌に生息していない生き
もの やがい はな
物もいます。野外に放すと、
ざいらい い もの えいきょう あた
在来の生き物に影響を与え
る可能性があります。ペット
は最後まで責任をもって飼
いましょう。

<キーワード>ペット



「動物園 希少種保護を
担ってる」

やせいせいぶつ せいそくすう きゅうそく
野生生物の生息数が急速に
げんしょう げんざい
減少している現在、
きしょうしゅほご どうぶつえん
希少種保護は動物園にとって
ひじょう じゅうよう やくわり
非常に重要な役割です。
どうぶつえん ぜつめつ
動物園では絶滅のおそれのあ
る希少な動物(希少種)を増
やす取組を行っています。

<キーワード>希少種



なみ かせ さいせいかのう
「波・風も 再生可能

エネルギー

うみ なみ かせ ちから りよう
海の波や風の力を利用して
はつでん ねんりよう も
た発電は、燃料を燃やす
はつでん ちが しげん
発電とは違い、資源がなくな
ることなく繰り返し発電で
き、おんだんか げんいん
き、温暖化の原因となる
にさんかたんそ だ
二酸化炭素を出さないとい
とくちょう
う特徴があります。

<キーワード>

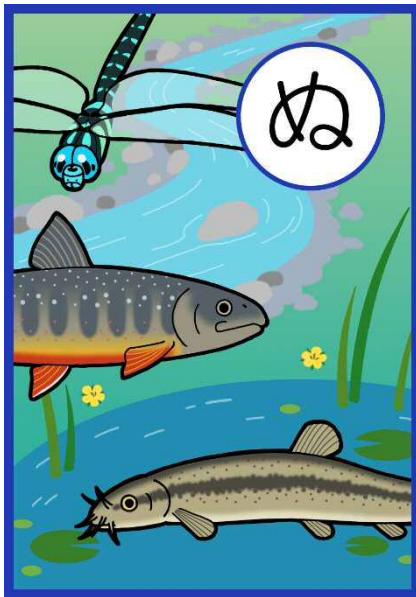
さいせいかのう
再生可能エネルギー



にな て そだ ひろ
「担い手を 育て拡げる
ほぜん わ
保全の輪」

い もの かんきよう ほぜん
生き物の環境を保全する
には、けいぞく とりくみ ひつよう
には、継続した取組が必要
です。そのため、多くの
せだい ほぜんかつどう さんか
世代が保全活動に参加し
ていくことがじゅうよう
重要です。

<キーワード> ほぜん
保全



ぬま かわ せいたいけい
「沼や川 生態系の
ぼうこ
宝庫だよ」

ぬま かわ りようせいらい すいせい
沼や川は、両生類や水生
どうぶつ すいせいしよくぶつ きよるい
動物、水生植物、魚類などの
す ぼしよ
住む場所となっています。ま
た、それらを中心として、
ちゅうしん
た、それらを中心として、
ちようるい こんちゅう せいたいけい
鳥類、昆虫など生態系が
けいせい
形成されています。

<キーワード> せいたいけい
生態系



ね は どく
「根や葉っぱ 毒があるかも
きを付けて」

さっほろ はな
札幌の花であるスズランは、
くさぜんたい どく とく はな
草全体に毒をもち、特に花と
ね おお ぶく い
根に多く含まれています。生
もの とりあつか ちゅうい
き物には取扱いに注意が
ひつよう
必要なものもありますので、
よくしら し たいせつ
よく調べて知ることが大切
です。

<キーワード> さっほろ はな
札幌の花、
スズラン



「残したい 地球の自然
未来まで」

地球は人間だけのものではありません。人間は地球で様々な動植物と一緒に生きており、こうした動植物のおかげで、豊かな恵みが受けられます。地球の自然を未来まで残していくために一人一人の行動が重要です。

<キーワード>自然環境



「バランスをとるのが大事
生態系」

生態系は食べる・食べられるという関係により、生き物同士の適切なバランスが保たれています。特定の生き物のみが増えてしまうと生態系のバランスが崩れ、生態系全体に影響を与えてしまいます。そのためバランスを保つことが大切です。

<キーワード>生態系



「ヒグマとは 距離を保って
付き合おう」

札幌市では、ヒグマ基本計画を策定し、ヒグマと一緒に生きていくことを目指しています。

<キーワード>
ヒグマ、野生生物



「ふれあって 学ぼう自然の
大切さ」

近所の公園や緑地を歩いてみたり、森や山、川に行ってみることで、身近な生き物をさがしてみよう。まずは生き物や自然に興味を持つことから始めて、自然の大切さを学びましょう。

<キーワード>ふれあい



へ
 「減らそうよ
 ごみになるもの 3R」
 しょうしげん しょう エネルギーも
 せいぶつたようせい ほぜん
 生物多様性の保全につな
 ぎます。リデュース（ごみを
 へ減らす）、リユース（くりかえ
 し使う）、リサイクル（再生
 利用する）に努め、限りある
 しげん たいせつ つか
 資源を大切に使いましょう。

<キーワード> 3R



ほうじょ
 「防除して
 とくていがいらいせいぶつ
 特定外来生物を」

しょくぶつ
 植物のオオハンゴンソウ、
 オオキンケイギク、オオフサ
 モは植えたり、生きたまま運
 ぶことが禁止されている
 とくていがいらいせいぶつ
 特定外来生物です。見つけた
 ばあい てきせつ とりあつか
 場合は適切に取扱いましよ
 う。

<キーワード> 特定外来生物



あ おとな
 「また会おう 大人になって
 カムバック」
 とよひらかわ もと とりくみ
 豊平川にサケを戻す取組とし
 て、1978年にカムバックサー
 モン運動が始まりました。稚魚
 ほりゅう とよひらかわ すいしつ
 の放流や豊平川の水質がよ
 くなったことにより、近年は
 まいとし ひきいじょう
 毎年1,000匹以上のサケの
 そじょう かわ なが
 遡上（川の流れをさかのぼるこ
 と）が確認されています。

<キーワード> カムバックサーモン



みじか い もの
 「身近には どんな生き物
 暮らししてる？」

にわ とり ちい むし すがた
 庭にくる鳥や小さな虫の姿
 をさが 探してみましよう。せいかつ
 生活の
 なか おお い もの そんざい
 中に多くの生き物の存在が
 あります。まずは生き物や
 しぜん きょうみ も ぶれ あ
 自然に興味を持ち、触れ合う
 ところから始めましよう。

<キーワード> 身近な生き物



「無駄はダメ みんなで
取り組む エコライフ」

温暖化の進行は、多くの生き物の生息環境を悪化させます。節電の取組は、生き物たちを守ることに繋がります。

<キーワード>エコライフ



「面倒と 思わず分別
ごみ減量」

きちんと分別してリサイクルすることで、天然資源の節約になり、限りある資源を次世代に引き継ぐことができます。

<キーワード>ごみ減量



「藻岩山 緑の
天然記念物」

藻岩山の標高は531mとそれほど高い山ではありませんが、北側の森林は、国の天然記念物に指定されている原始林があり、四季折々の表情を見せてくれます。

<キーワード>

藻岩山、天然記念物



「ヤマメいる？
川の指標種 見つけよう」

ヤマメは溪流の清らかで冷たく澄んだ水で育つ魚です。ヤマメが住めるのはきれいな川であるということの指標となります。

<キーワード>指標種



「雪の中 エゾシカたちが
群れをなす」

エゾシカは北海道の森林や原野に広く住んでいます。角は雄だけにあり、普通春になると角が落ちます。エゾシカは群れで生活をするため、まとまって見られる場合があります。

<キーワード>エゾシカ



「夜の闇 コウモリ飛んで
虫を狩る」

札幌の中心部には翼を広げると40センチを超える大型のヤマコウモリが生息しており、夕暮れ時にねぐらを飛び立ち、街明りに集まる虫を求めて活動しています。

<キーワード>ヤマコウモリ



「ラクダの背 ひとコブ
ふたコブ 違って」

ラクダにはコブが一つのヒトコブラクダとコブが二つあるフタコブラクダの2種がいます。どちらも砂漠での生活に適しています。

<キーワード>多様性



「林道の横にもいるよ
希少種が」

希少な植物は林道の近くにも生育していることがあります。踏み荒らさないように気を付けて通行しましょう。

<キーワード>希少種、
サクラソウモドキ



「累々と 外来ガエル
繁殖す」

札幌市内においても、トノサ
マガエルやアズマヒキガエ
ルなどの外来カエルが確認
されています。在来の生き物
に影響を与えることもある
ため、適切な対応が必要で
す。

<キーワード> 外来種



「レンコンの 穴の形が
多様性」

レンコンの穴はレンコンが
呼吸をするための通気口の
役割をしています。穴の形
には、遺伝子の多様性により
個体差・個性があります。

<キーワード> 多様性



「ロードキル
吊り橋つって 防ごうね」

ロードキルとは、交通事故に
より動物が車等にひかれて
死んでしまうことです。人と
動物がともに暮らしていくた
めに、吊り橋などを設置して
事故を極力減らす取組が進
められています。

<キーワード> ロードキル



「渡り鳥 世界のみならず
守ろうね」

渡り鳥は、冬を越すために
毎年定まった季節に移動を
繰り返します。国境を越え
た移動もあるため、世界で渡
り鳥の住む環境を守ること
が必要です。

<キーワード> 渡り鳥